

2024年12月期における
4つの
注目ポイント

すかいらくグループは
着実に成長
グローイング

2024年12月期は、増収増益となり、すかいらくグループの成長戦略が着実に進展しています。
またTCFD(気候変動)への対応に加えて、TNFD(生物多様性)に賛同するとともに、
フォーラムに参加するなど新たな環境問題への取り組みもスタートさせています。

1

業績

増収増益。
営業利益・当期利益は、
前年対比2倍超を達成

2024年12月期は「増収増益」。「営業利益」および「当期利益」は前年対比2倍超と大きな成果を達成できました。
店舗中心経営の推進と、消費者ニーズを捉えたメニュー・プロモーション施策が効果を上げ、既存店売上高は前年比111.6%と好調に推移しました。また、立地を厳選して戦略的に進めた新規出店や業態転換も収益増加に貢献しました。
主要財務指標のROEは、8.3%と前年の3.0%から改善し、最低目標として定めた8%の資本コストを上回る水準となりました。

2024年12月のPL状況

(単位: 百万円)	2023年12月期	2024年12月期	2025年12月期(予想)
売上高	354,831	401,130	445,000
営業利益	11,688	24,184	25,000
税引前利益	8,691	21,470	22,300
親会社の所有者に帰属する当期利益	4,781	13,965	14,800
ROE	3.0%	8.3%	8.3%

2

基軸の進展状況

サステナブル経営に不可欠な
3つの基軸への対応

▶ 成長戦略(3つの基軸)の詳細は、**P14-24**をご覧ください。

① 人的資本の充実

従来の「コスト削減重視」の経営から、「店舗中心経営」へと大きく舵を切り対応を進めてきました。業績インセンティブ制度の導入や評価制度の改革などを通じて、店舗マネジャーの自律的な店舗運営と目標達成のサポートを組織的に推進。さらに、ベースアップや時給見直しなど、従業員のモチベーションと帰属意識を高める様々な取り組みを実施しました。

② DXの推進

すかいらくのDXは多様な従業員の能力を最大限高め、顧客満足度向上に寄与しています。すかいらくアプリによるテーブル決済サービスで会計の待ち時間を解消する他、データマーケティングも進化しています。
また、社内の勉強会やIT資格補助を通じて、DX人材の育成を強化しています。

③ ESGの推進

国際的な非営利団体であるCDPより、「気候変動」と「水セキュリティ」において最高評価の「Aリスト企業」に初めて認定され、ダブルA企業となりました。また、世界的なESG投資指標である「Dow Jones Sustainability Asia Pacific Index (DJSI Asia Pacific)」の構成銘柄に初めて選定され、レストラン・レジャー分野で世界第2位という高い評価を受けています。

3

中期事業計画をスタート

重要な3つの基軸とともに、
具体的な成長戦略を策定

▶ 中期事業計画の詳細は、**P25-39**をご覧ください。

すかいらくグループでは、2027年12月期を最終年度とする中期事業計画を策定し、2025年12月期よりスタートさせています。
成長戦略としてKPIを設定した「既存店成長」「新規出店(国内)」「海外展開」「M&A推進」の的確な進捗により、私たちならではのサステナブル経営を実現してまいります。

2024年12月期(計画)

2024年12月期(実績)

2025～2027年12月期(予想)

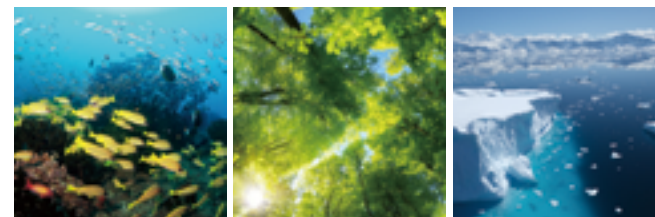
既存店成長	客単価: 1% 客数: 6%	客単価: 4.4% 客数: 6.9%	客単価: 2～3% 客数: 1% CAGR(年平均成長率)
新規出店	国内・海外: 40～50店	43店舗	国内 300店 程度 海外 100店 程度
M&A	—	1件	※2027年12月期までに 3～5件

4

自然資本・
生物多様性への取り組み

TNFDに賛同し情報を開示

▶ TNFD提言への対応についての詳細は、**P63-64**をご覧ください。



すかいらくグループは、TNFD(自然関連財務情報開示タスクフォース)に賛同するとともに、2024年5月より、賛同企業が自然資本に関してリスク管理と開示の枠組を構築するために設立されたTNFDフォーラムに参加しています。
昆明・モンリオール生物多様性枠組みにおいて明文化された、2030年までに生物多様性の損失を止めて反転させる

「ネイチャーポジティブ」の考え方・目標に賛同し、生物多様性および生態系サービスに対する自社の依存関係と影響についてのリスク評価をもとに、サプライヤー、ビジネスパートナーと協業して取り組むとともに、自然関連のステークホルダーに対するエンゲージメントを推進していきます。